

告 辞

日の浦山の緑が日増しに色濃くなり、瀬野川のせせらぎや小鳥のさえずりに春の訪れを感じる今日の佳日。

令和2年度海田町立海田小学校卒業証書授与式が挙行され、66名の皆様が小学校六か年の全課程を修了し、卒業証書を手になされたことを心からお慶び申し上げます。

日夜温かい愛情を注がれ、今日のこの日をお迎えになられた保護者の皆様の慶びは、ひとしおと存じます。

海田町においては、「夢を持ち、夢を語ることができる児童生徒の育成」をめざし、これからの社会のなかで生きていくために必要な力を育む教育活動を進めてまいりました。卒業生の皆さんはその期待に応え、心も体もたくましく成長されたことを大変嬉しく思います。

卒業という節目を迎えた今、皆さんは小学校での数々の思い出が心に浮かんでくることでしょう。教科の学習や修学旅行などの学校行事、みんなで過ごした休憩時間等、どれもかけがえのない時間となったことと思います。

本年度は、新型コロナウイルス感染症が広まり、日本だけでなく世界中に大きな影響を与えています。学校生活においても、マスクの着用や三密を避けるなど新しい生活様式が必要となり、様々な活動が制限されることとなりました。そのような中、皆さんの最上級生として、自分たちにできることを考え実践しようとする姿は、頼もしく思いました。

さて、今年度、海田町では、東京オリンピックに合わせて織田幹雄スクエアが開館しました。皆さんが御存じのように海田町は、日本人初の金メダリストとなった織田幹雄さんの出身地です。織田幹雄さんは、「より速く、より高く、より強く」の言葉のように常に夢や目標を明確にもち、それを実現するために工夫や努力を重ねられました。海田町の誇りである織田幹雄さんの生き方からは、多くのことを学ぶことができます。

卒業生の皆さんが歩んでいこうとする未来は、変化が激しく、自らが考え判断していかなければならないような状況があると思いますが、夢の実現に向けて力強く歩み続け、これからの時代を支える一人の人として立派に成長されることを心から願っております。

最後になりましたが、これまで陰になり日向になり教育活動を支え、子どもたちを温かく御指導して下さった木村校長先生をはじめとする海田小学校の教職員の皆様、日々子どもたちの成長を願い、御支援を賜りました地域の皆様に心から感謝申し上げますとともに、改めて本日巣立ちの日を迎えた卒業生の皆さんの今後の御活躍と御発展を祈念し、教育委員会告辞といたします。

令和三年三月二十三日

海田町教育委員会